

2016年3月25日

各位

会社名 損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社
代表者名 グループ CEO 代表取締役社長 櫻田 謙悟
(コード：8630、東証第1部)

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社の商号変更および 新グループ経営体制（『事業オーナー制』等）の導入について

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「当社」）は、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービス」を目指すグループ経営理念の実現に向けた新たな成長戦略として、新中期経営計画を検討しています。

新中期経営計画では、「安心・安全・健康」をテーマとするサービス産業への構造転換を果たすとともに、グローバルプレイヤーに伍して戦えるポジションの確立に向けて大きく舵を切ります。その実現に向けて、2016年10月1日付けでグループの持株会社である当社の商号を変更し、「安心・安全・健康」の「SOMPO」ブランドの強化を推進するとともに、非連続な環境変化に対する強靱かつ敏捷な経営体制を確立するために、2016年4月1日付けで新たなグループ経営体制を導入します。

1. 当社の商号変更

2016年6月に開催予定の第6回定時株主総会において、定款の一部変更が承認されることを前提として、当社の商号を以下のとおり変更します。

(1) 新商号

SOMPOホールディングス株式会社（英文表記：Sompo Holdings, Inc.）

(2) 変更予定日

2016年10月1日

(3) 変更の理由

グループ・グローバルベースで、高品質なサービス・商品の提供および統一感あるブランドイメージ醸成の両面に取組み、「安心・安全・健康」にフォーカスした「SOMPO」ブランドの強化を図るため。

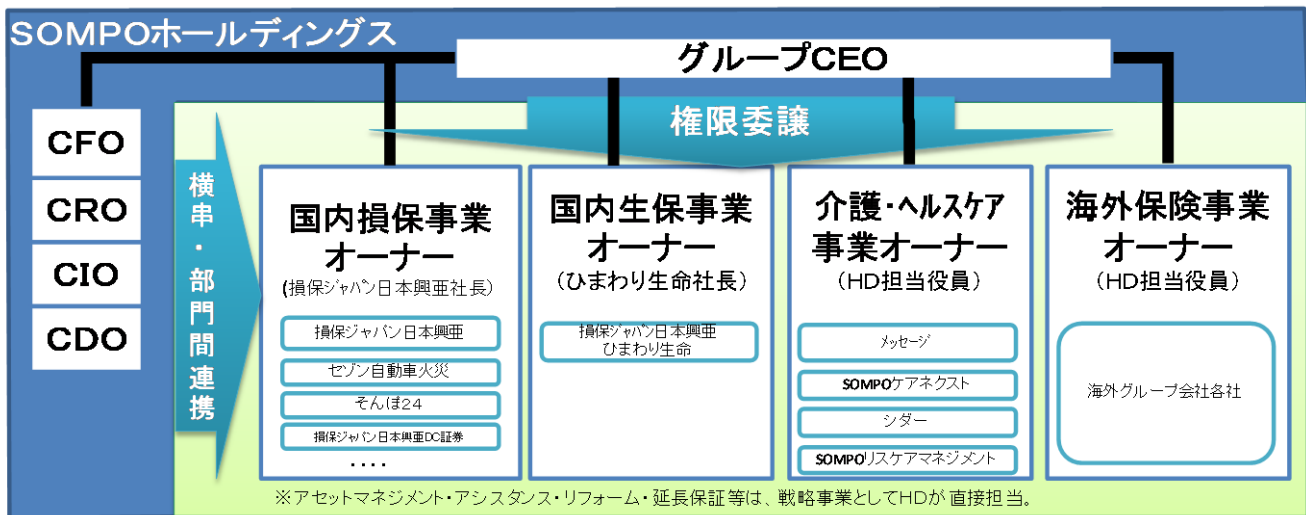
2. 新たな経営体制の導入

(1) 事業オーナー制の導入

各事業部門（国内損保事業、国内生保事業、介護・ヘルスケア事業、海外保険事業）のトップを事業オーナーと位置づけ、事業オーナーに事業戦略立案・投資判断・人材配置などの権限を委譲し、大きな環境変化に対して、お客さまにより近い事業部門が柔軟かつ敏捷な意思決定・業務執行を行うグループ経営体制に変更します。これによって、各事業領域において存在感ある優位性を確立・強化することで、成長を続けていきます。

(2) グループ横断機能の強化

持株会社は、デジタル戦略などのグループ横断の重要課題への対応および事業部門間の連携を強化する体制を構築し求心力を発揮することで、「安心・安全・健康」に資するトータルサポートサービスの創出、新たな事業創造・既存事業の領域拡大を行っていきます。



3. デジタル戦略研究・開発拠点の新設

テクノロジーの指数関数的な進化の流れを真っ先にとらえ、グループとしての競争優位性を確固たるものとするため、グループ横断の機能強化の一環として、2016年4月にデジタル分野における研究・開発を目的とする拠点「SOMPO Digital Lab (<http://www.sompo.io>)」を東京・米国シリコンバレーに新設します。

また、デジタルに関する戦略を迅速に実行していくために、2016年5月にグループ内にCDO（チーフ・デジタル・オフィサー）を設置し、デジタル分野において豊富な経験を持つ人材を外部より招聘します。

さらに、シニアアドバイザーに、トーマス・H・ダベンポート氏※をはじめとする各界の第一人者を迎え、各事業部門の業務効率化はもとより、先進的なデジタル技術を活用した新たなお客さま接点の構築、デジタルネイティブ向けのマーケティング、これまでには無いビジネスモデルの研究・開発などを行っていきます。

※ トーマス・H・ダベンポート氏

パブソン大学教授。デロイト・シニアアドバイザー。

データを活用した経営の世界的第一人者。ハーバードビジネススクールやシカゴ大学などで教鞭を執り、2012年の世界のベスト・ビジネススクール・プロフェッサー50人の一人に選ばれました。さらに、これまで数百の企業に経営のアドバイスを提供しており、過去には世界のトップ・コンサルタント25人の一人に選ばれています。

SOMPO Digital Lab

～デジタル戦略への経営資源の積極投入～

- ◆2016年4月に東京と米国シリコンバレーに「SOMPO Digital Lab」を設置
- ◆「SOMPO Digital Lab」は全社的なデジタル活用をさらに推進
- ◆外部人材の積極活用
 - ・CDO(チーフ・デジタル・オフィサー)
 - ・シニアアドバイザー

SOMPO Digital Lab HP



<http://www.sompo.io>